

FS200 手順: ジョブ送信の自動化



FS200 手順: ジョブ送信の自動化

機能概要

Fiery Command WorkStation® のシステム管理者は、Server Job Presets を作成し共有して、一般的に使用されるアプリケーション向けのジョブのプロパティの選択を自動化することで、時間を節約し、生産性を最大限に向上することができます。

システム管理者は、Command WorkStation の「デバイスセンター」からサーバープリセットの保存、編集、公開、および削除を行うことができます。これにより、他のユーザーは、仮想プリンター、Hot Folders、ジョブのプロパティ、印刷ドライバーなど、ワークフローを通じて一元的に保存されたプリセットにアクセスすることができます。

Fiery Virtual Printers によって、プロダクション印刷の管理者は特定の設定を作成し、それをデスクトップ上の特定の名前のプリンターとしてユーザーに提示することができます。たとえば、定期的にトレーニング マニュアルを印刷するユーザーは、「トレーニング マニュアル」という名前のプリンターに印刷するだけで、ジョブ設定のエラーを大幅に削減することができます。

Fiery® Hot Folders では、ドキュメントを Fiery サーバーに送信する自動化された簡単な方法をユーザーに提供します。ユーザーはドキュメントを Hot Folders にコピーまたはドロップするだけです。このワークフローでは、ジョブは PPD の上書き、面付け属性、ファイル形式の変換などのジョブ チケットの指示とともに Fiery サーバーに送信されます。

ゴール

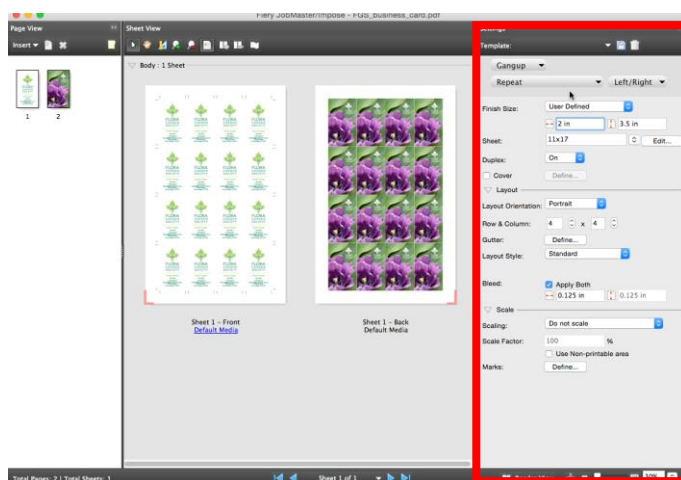
- 名刺の面付けレイアウトを作成する
- 新しいサーバープリセットを作成する
- 新しい仮想プリンターを作成してプリセットを適用する
- 新しい Hot Folder を作成してプリセットを適用する
- Command WorkStation で自動ワークフローを適用する

その他のリソース

その他のソフトウェア ダウンロードやトレーニング リソースについては、[Fiery オンライン リソース](#)を参照してください。

はじめに

- Fiery Command WorkStation 5.7 ® (またはそれ以降) を起動し、Fiery FS200/FS200 Pro を実行している、少なくとも 1 つ以上の Fiery サーバーに接続してください。
- Command WorkStation を実行しているコンピューターで Fiery Impose のライセンスをアクティベートします。
- Command WorkStation を実行しているコンピューターに Fiery Hot Folders をインストールします。
- サンプル ファイル (FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf) を Fiery サーバーの待機キューに送ります。ファイルを Command WorkStation の待機リストにドラッグするか、Command WorkStation 内のインポート メニュー オプションを使用してください。
- 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。



名刺の面付けレイアウトを作成する

1. Command WorkStation の「待機」リストで、FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf を選択します。次に、右クリックして「Impose」を選択します。
2. 「Impose」ウィンドウの「設定」ペインで、製品インテントに「ギャングアップ」を選択します。
3. 「ギャングアップ」の下で「反復」を選択します。
4. 「仕上がりサイズ」オプションで、「ユーザー定義」を選択します。

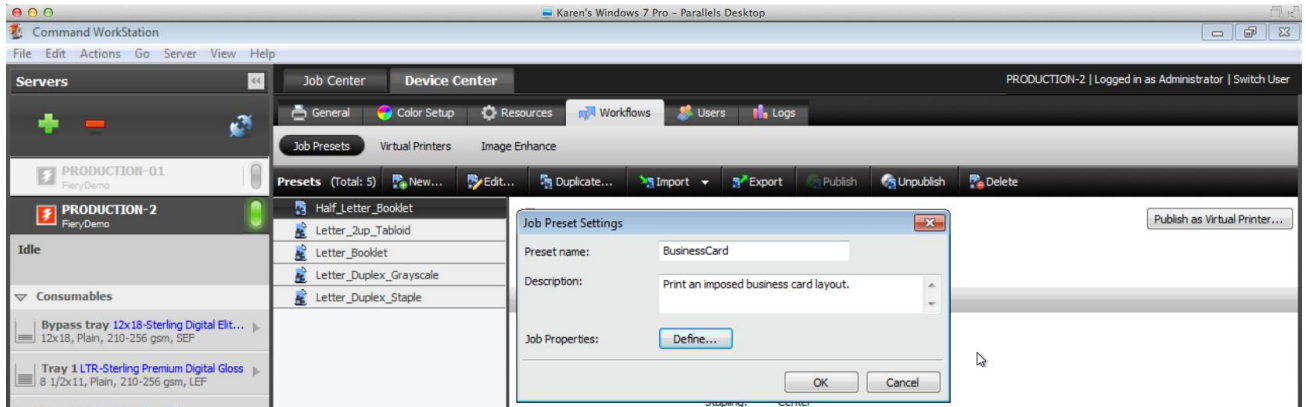
Fiery Impose の「ユーザー定義の仕上がりサイズ」での面付けは、PDF ファイルのトリムボックスの仕上げのオプションを使用します。この機能強化により、Fiery Impose のテンプレートを「ユーザー定義の仕上がりサイズ」設定で使用して、これらのテンプレートを Fiery Hot Folders、仮想プリンター、ジョブのプロパティ、およびサーバー プリセットなど、任意のジョブ送信の方法またはワークフローで利用できます。

5. 「シート」で、「11x17」または「A3」を選択します。
6. 「両面」で「オン」を選択します。
7. 「レイアウト」領域で、次のオプションを選択します。
 - a. レイアウト方向: 縦
 - b. 行と列: 4 x 4
8. 「とじしろ」で「定義」をクリックします。
9. 0.25 インチを入力し、「OK」をクリックします。「シート表示」ペインで、各カードの間に 0.25 インチの空白がとじしろとして表示されます。
10. Command WorkStation の環境設定で「ユーザー定義」オプションがデフォルトに設定されている場合、ジョブを Impose で開いたときに、ブリード値は自動的に設定されています。

Impose では、「ユーザー定義」を有効にすると、トリム サイズの値から仕上がりサイズの値が設定され、ドキュメントからブリード値が自動的に設定されます。

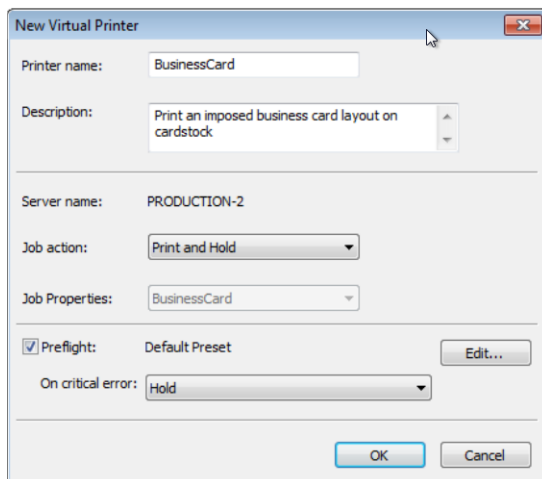
11. 「ページマーク」領域で「定義」をクリックします。

12. 「トリム」タブで「トリミングマーク印刷」チェック ボックスを選択します。
13. 「マークをおもて面のみ印刷」チェック ボックスをオンにします。「OK」をクリックして閉じます。
14. 設定をテンプレートとして保存するには、**ディスク アイコン**をクリックします。この例では、「BusinessCard_UserDefined」として保存します。「OK」をクリックします。
15. ファイル メニューから「終了」を選択するか、角にある赤い **X** をクリックして、Impose を閉じます。
16. 「保存」ウィンドウが開いた場合、面付けジョブを保存しないのであれば「いいえ」を選択します。
17. 次のセクションでは、このテンプレートをサーバプリセットに適用し、これを使用して今後の同様のジョブを自動化できるようにします。



新しいサーバプリセットを作成する

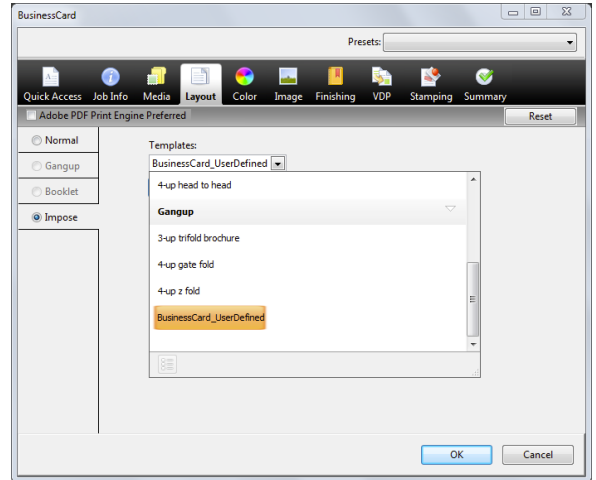
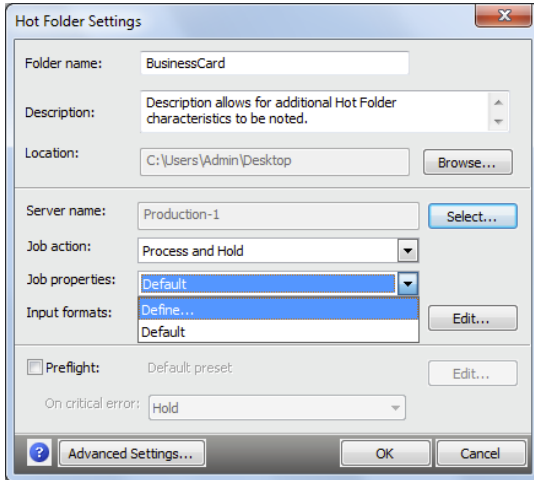
1. Command WorkStation で、「移動」 > 「ジョブプリセット」をクリックします。
2. 新しいプリセットを作成するには、「新規」をクリックします。
3. プリセット名と説明を入力します。
4. この例では「**BusinessCard**」と入力します。
5. 「説明」フィールドに、追加の特性を記載できます。この例では、「**面付けした名刺レイアウトの印刷**」と入力します。
6. 「ジョブのプロパティ」で、「**定義**」をクリックします。
7. 「**レイアウト**」アイコンをクリックします。
8. 「**Impose**」をクリックします。
9. 先に作成した **BusinessCard_UserDefined** テンプレートを選択します。完了したら、「**OK**」をクリックします。
10. 「**OK**」をクリックして、「ジョブのプロパティ」を適用します。
11. 次のセクションでは、このプリセットを仮想プリンターに適用します。



仮想プリンターを作成してプリセットを適用する

1. 「プリセット」ウィンドウから、**BusinessCard** プリセットを選択します。次に、「**仮想プリンターとして公開**」をクリックします。
2. 「新規仮想プリンター」ウィンドウが開き、追加の設定を適用できます。
3. プリンター名を入力します。この例では「**BusinessCard**」と入力します。
4. 「説明」フィールドに、仮想プリンターの追加の特性を記載できます。
5. 「ジョブアクション」で「**印刷後待機**」を選択します。
6. デフォルトでは、「**Auto Preflight**」チェック ボックスがオンになっています。この例では、デフォルトの Preflight 設定を使用します。
7. すべての設定が終了したら、「**OK**」をクリックします。
8. 保存後、仮想プリンターが作成されたことを示すメッセージが表示されます。
9. 「デバイスセンター」の「ワークフロー」で「**仮想プリンター**」を選択して、新しく作成した仮想プリンターを確認します。
10. さらに仮想プリンターを作成するため、「**新規**」をクリックします。
11. 「**新規仮想プリンター**」ウィンドウで、仮想プリンターの名前（機能を示すような名前）を入力します。
12. 「**説明**」には、追加の特性を記載できます。
13. 「**ジョブアクション**」を選択します。
14. 「ジョブのプロパティ」で、「**定義**」をクリックします。次に、適用する印刷オプションを割り当てます。
15. 「**すべてロック**」をクリックします。これによって、事前に定義されたジョブのプロパティをユーザーが上書きしないように防ぐことができます。
16. 「**OK**」をクリックして、「ジョブのプロパティ」を適用します。

17. 完了したら「OK」をクリックして、新しい仮想プリンターを保存し、公開します。
18. これでユーザーは仮想プリンターのドライバーをインストールして、ジョブを送信することができます。
19. 仮想プリンターのインストールについては、Fiery の取扱説明書を参照してください。



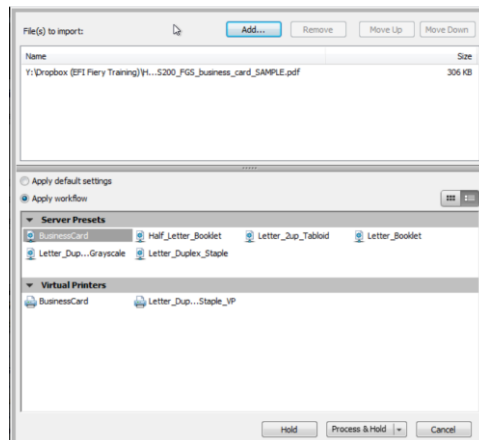
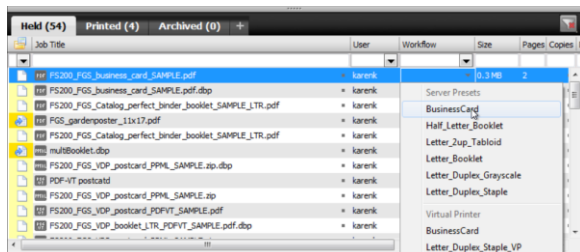
新しい Hot Folder を作成してプリセットを適用する

1. Fiery Hot Folders アプリケーションを起動します。
2. ツールバーの「新規」アイコンをクリックして、新しい Hot Folder を作成します。
3. 新しいフォルダーの名前を入力します。この例では「**BusinessCard**」と入力します。
4. 「説明」フィールドに、Hot Folder の追加の特性を記載できます。
5. 「場所」フィールドには、新しい Hot Folder が作成されるデフォルトの場所が表示されます。場所を変更するには、「参照」をクリックします。この演習では、デフォルトの場所（デスクトップ）を使用します。
6. 「選択」をクリックして Fiery サーバーを選択します。
7. 「サーバーに接続」ウィンドウが開いたら、**検索アイコン**（虫メガネのアイコン）を使用して、ネットワーク上の Fiery サーバーを検索します。Hot Folders で送信したジョブの受信に使用する Fiery サーバーを選択します。次に、「接続」をクリックします。

使用する Fiery サーバーが別の TCP/IP サブネット上にある場合は、検索メニューを選択し、サブネットまたは IP 範囲を選択して、ローカルの TCP/IP サブネットの範囲外まで検索を拡大します。

8. ジョブアクションを割り当てます。この演習では「**処理後待機**」を選択します。
9. 「ジョブのプロパティ」で、サーバープリセットを選択します。この例では「**BusinessCards**」を選択します。
10. 「Preflight」チェック ボックスをオンにします。
11. 「重大エラー発生の場合」オプションで「**待機**」を選択します。
12. 「OK」をクリックして、すべての設定を Hot Folder に適用し、Fiery Hot Folder コンソールを閉じます。
13. Fiery Hot Folders を実行しているコンピュータ上で、**FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf** を探して選択します。

14. 右クリックして「ホットフォルダにダウンロード」を選択します。次に、作成した Hot Folder を選択します。または、FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf を BusinessCard Hot Folder にドラッグします。



Command WorkStation で自動ワークフローを適用する

1. オプション 1: Command WorkStation の「待機」リストで、FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf を選択します。次に、右クリックして「ワークフローを適用」 > 「BusinessCard」を選択します。
2. オプション 2: Command WorkStation の「待機」リストで、FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf を選択します。次に、「ワークフロー」列でクリックして、「サーバープリセット」または「仮想プリンター」からワークフローを選択します。
3. オプション 3: ツールバーの「インポート」アイコンをクリックします。または、「ファイル」 > 「インポート」を選択します。
 - a. FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf を探します。
 - b. 「ワークフローを適用」をクリックします。
 - c. サーバープリセットまたは仮想プリンターを選択します。
 - d. 適用するジョブアクションを選択します。

EFIはお客さまのビジネスの発展をお手伝いします

EFIは看板・パッケージ・繊維製品・セラミックタイル・パーソナライズされた書類の制作のための革新的テクノロジーを開発しています。EFIの提供する様々なプリンター・インク・デジタルフロントエンド・総合的ビジネスソリューション及び生産ワークフローにより、生産プロセスを改良・簡素化することで、印刷業界で圧倒的な競争力と高い生産性を手に入れることができます。詳細は：<http://www.efi.co.jp>まで。



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, Best, the Best logo, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, DockNet, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, Fabrivu, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inktenzity, Inkware, Jettrion, the Jettrion logo, LapNet, Logic, MiniNet, Monarch, MicroPress, OneFlow, Pace, PhotoXposure, Printcafe, PressVu, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Rastek, the Rastek logo, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincrolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEk, the VUTEk logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.